

令和5年度 事業計画

令和5年6月1日～令和6年5月31日

公益社団法人 日本カーリング協会

1. 総会・理事会等開催
 - (ア) 社員総会の開催
 - ① 定時社員総会の開催 令和5年8月5日開催予定
 - (イ) 理事会の開催
2. 監査会の開催
 - ① 令和4年度 会計監査（東邦監査法人） 令和5年7月10日～12日
 - ② 令和4年度 監査会 令和5年7月19日
3. 上部団体対応
 - ① 日本オリンピック委員会（JOC-NF 連絡会議、NF 支援センター会議、WUG 派遣 他）
 - ② 日本スポーツ協会（公認指導者登録、新型コロナウイルス対応 他）
 - ③ 日本スポーツ振興センター（スポーツ振興助成金、アスリート個人助成、HPS 事業）
 - ④ JADA（ドーピング検査事業説明会 他）
4. 全国事務局長会議の開催
令和5年9月 Japan Sport Olympic Square 会議室およびオンラインにて開催予定
5. 補助事業の申請・実施・報告業務
6. 広報・マーケティング活動
 - ① ホームページリニューアル
 - ② ホームページ、SNS の更新維持作業、記者会見の開催（日本代表チーム会見 他）
 - ③ スポンサーシッププログラムに沿った協賛対応
7. 協賛企業対応
全農、JAL、ナブテスコ、ミズノ、日本マスク、大会協賛各社
8. 世界カーリング連盟（WCF）関係
国際大会代表チーム派遣業務等
9. 会計業務
日常会計業務、月次(四半期)試算表作成、決算業務、納税、給与支払い、社会保険手続き 他
10. 競技者登録・登録証発行

1. 目的

財務委員会は本協会財務の健全性を確保するため、財政的な基盤を充実し、安定的に維持する必要があります。毎年度の予算を立案・決算に関する審議を精査し、理事会に提案する事を目的とする。

2. 委員一覧（敬称略・順不同）◎：委員長 ○：副委員長

◎石田順一、○大澤明美、酒巻 智、野藤 薫、初瀬智彦、小高正嗣

3. 令和5年度活動計画

- ・ 予算案の作成、各委員会への予算折衝
- ・ 予算執行の監督、四半期毎の資産状況の確認と必要な財務施策の立案と実施
- ・ 補正予算案の作成
- ・ 決算案の作成
- ・ 財務構造の分析と中長期の財務計画の立案
- ・ 寄付金の税額控除の対象となる公益法人を目指すための活動
- ・ 協会への個人協賛（仮称カーリングサポーター）を募るための活動

4. 令和5年度予算

会議等をオンラインで行うため当初予算は要求しない。必要に応じて補正予算申請を行う。

1、委員会の開催

- ・年6回程度のweb会議開催を基本とし、それ以外にも必要に応じ適宜開催。
- ・集合会議は1回開催。

(2023年度の事業計画等が承認される定時総会又は全国事務局長会議に合わせて開催。)

2、スポーツ庁制定「スポーツ団体ガバナンスコード」への対応

- ・2019年に制定された「スポーツ団体ガバナンスコード」による毎年の自己説明及び公表に対応。
- ・令和5年度(2023年)の適合性審査への対応。(未整備項目の整備完了)

3、中長期計画の策定

- ・「スポーツ団体ガバナンスコード」未対応案件である「中長期計画」についてワーキンググループでの基本方針策定をもとに、「中長期計画」を公表する。

4、協会運営体制に沿った運営実務の整備

- ・実務に沿った規程類の策定及び改訂。
- ・実務の効率化への対応。

5、役員選考委員会(令和6-7年度役員選考 11月設置)の立ち上げ対応

- ・新運営組織での次期役員、委員改選の課題への対応。

6、有料観戦大会に関する事業検証

- ・マーケティング委員会が進める収益事業の収益増加を目指し、事業検証面等から協力する。

7、登録証の発行(事務局依頼)

- ・登録料の振込が確認された加盟協会から随時発行。

8、その他

- ・全国事務局長会議(JCA主催)に委員長又は副委員長を派遣し、事務レベルでの提案等について検討、改善等協力を行う。

会議での意見や提案等については理事会へ報告する。

1. 委員会の開催 【共通事業】

(1) 第1回委員会

期 日：令和5年6月

会 場：WEB

案 件：令和5年度事業の進め方ほか

(2) 第2回委員会

期 日：令和5年8月

会 場：集合及びWEB（併用）

案 件：令和5年度事業の進捗状況ほか

(3) 第3回委員会

期 日：令和5年12月

会 場：WEB

案 件：令和5年度事業の進捗状況ほか

(4) 第4回委員会

期 日：令和6年2月

会 場：WEB

案 件：令和5年度事業実績、令和6年度事業計画（案）ほか

(5) 第5回委員会

期 日：令和6年4月

会 場：WEB

案 件：総会提出事項ほか

(6) その他

必要に応じて、事業担当者ミーティングを別途開催予定（WEB）

2 スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（指導普及用）の見直し 【共通事業】

政府及び日本スポーツ協会の新型コロナウイルス感染症対策の見直しにあわせて指導普及活動用のガイドラインを修正（6月頃）

3 公認カーリングコーチ養成講習会 【指導事業】

(1) カーリングコーチ1

開催地：札幌市

時 期：令和5年10月7日（土）～9日（月・祝）

定 員：30名

参 考：公認コーチ1養成講習会における共通科目Ⅰは、令和4年度より、「コーチングアシスタント養成講座」の受講に移行。（共通科目Ⅰが免除できる場合を除く）。

コーチングアシスタント養成講座は学校法人NHK学園による通信講座の形態で実施してきたが、同通信講座は令和4年度で終了し、令和5年度以降はJSPOによるオンライン形態での実施に移行。

(2) カーリングコーチ3

開催地：軽井沢町

時 期：前期 令和5年6月9日（金）～11日（日）

後期 令和6年1月19日（金）～21日（日）

定 員：12名程度

4 カーリング指導者ステップアップ講習会（更新研修） 【指導事業】

目 的：カーリングの指導理論や技術を学ぶ

対 象：公認カーリング指導者

方 法：WEB（座学）

時 期：未定

受講料：指導員 2,000 円、その他 3,000 円（予定）

5 JCA 功労章及び JSPO 永年表彰 【指導事業】

(1) JCA 功労章

加盟都道府県協会に推薦を依頼（12～翌年1月）

指導普及委員会において協議（2月）

審査委員会（理事会）において審査・決定（3～4月）

社員総会において表彰（8月）

(2) JSPO 永年表彰

4年度の JCA 功労章受章者を JSPO 永年表彰（指導者）候補者として推薦（7月）

JSPO の審査を経て内定（11月）

JSPO 全国指導者会議において表彰（12月頃）

6 JSPO 指導者資格の受講希望調査・推薦 【指導事業】

スポーツドクター （JSPO の募集開始後） 2～3月

アスレティックトレーナー （ // ） 2～3月

スポーツデンティスト （ // ） 2～3月

・加盟協会に受講希望者を照会し、該当者がいれば経歴書等を審査して JSPO に推薦

・照会及び推薦は医科学委員会及び JCA 事務局と協力して実施

7 JCA カーリングスクール 【普及事業】

(1) JCA カーリングスクール横浜 2023

期 日：令和5年7月2日（日）

会 場：横浜銀行アイスアリーナ

主 催：（公社）日本カーリング協会、神奈川県カーリング協会、東京都カーリング協会

主 管：（公社）日本カーリング協会（指導普及）、神奈川県カーリング協会、東京都カーリング協会

(2) JCA カーリングスクール二戸 2023

期 日：令和5年11月（調整中）

会 場：県北青少年の家

主 催：（公社）日本カーリング協会、岩手県カーリング協会

主 管：日本カーリング協会（指導普及）、岩手県カーリング協会

8 OCT（オリンピック・セレブレーション・ツアー）スクール

期 間：令和5年6月14日～26日

場 所：稚内市 6月15日（木）～20日（火）

軽井沢町 6月21日（水）～25日（日）

講 師：ケイトリンローズ（ソチ五輪ゴールドメダル、平昌五輪 MD ゴールドメダル）、土屋長雄

9 カーリング online クリニック（テスト開催） 【指導事業】

目 的：カーリング初級者及び中級者が希望する項目をオンラインで個別指導する

対 象：JCA 登録者

時 期：未定

指導料：無料

10 第5回全日本小学生カーリング選手権大会 【普及事業】

時 期：令和5年12月24日（日） 前日は受付及び講習会 ※仮日程

会 場：横浜銀行アイスアリーナ

主 催：（公社）日本カーリング協会

主 管：（公社）日本カーリング協会（指導普及委員会）、東京都カーリング協会

11 第2回全日本中学生カーリング選手権大会 【普及事業】

時 期：令和5年7月29日（土）～30日（日）

会 場：MGC 三菱ガス化学アイスアリーナ

主 催：（公社）日本カーリング協会

主 管：（公社）日本カーリング協会（指導普及委員会）、新潟県カーリング協会

12 JCA カーリング指導普及活動支援プログラム

募 集：令和5年6月～7月（実施要項を制定後に募集開始）

審 査：令和5年8月（事業担当委員による審査を経て委員会で採択）

実 施：令和5年9～3月

13 指導普及備品貸し出し 【共通事業】

（1）カーリングブラシ

A セット（ブラシ39本、スライダー10枚） 広島市

B セット（ブラシ40本） 青森市

（2）フロアーカール

A セット 軽井沢町

B セット 青森市

- 日本選手権大会その他の競技大会の開催
- 競技力向上事業の実施及び調査研究
- 審判員の資格認定及び講習会の開催
- 国際競技大会等の開催並びに国際競技大会へのスタッフ参加者の選定及び派遣
- アイスメイクの技術開発及び検定・講習会の開催

① 競技委員会の開催

- 第1回委員会(web)
日 時：2023年6月 日 ()
- 第2回委員会(web)
日 時：2023年9月 日 ()
- 第3回委員会 (Web)
日 時：2023年10月 日 ()
- 第4回委員会 (Web)
日 時：2024年 1月 日 ()
- 第5回委員会 (Web)
日 時：2024年 3月 日 ()
- 第6回委員会 (Web)
日 時：2024年 5月 日 ()
- 必要に応じWeb会議を開催 大会報告委員会の開催

② 競技運営研修会・運営マニュアル作成事業

- 競技運営研修会 (web)
日 時：随 時
- 大会公式記録作成データ作成 (電子版)
- 大会運営マニュアル作成
- 競技情報 Web 管理システム使用料 (Web ラインナップ等)

③ 審判員検定講習会及び研修会

- A級研修会～開催方法未確定
開催日程：2023年 6月 日 (土) ～
開催場所：北海道・青森どちらか
※出席審判員の旅費を支給 (予算の範囲内支給)
- A級検定講習会
開催日程：2023年 6月3日 (土) ～ 6月4日 (日)
開催場所：東京・オリンピックスクエア

- A級実技検定講習会
開催日程：各日本選手権大会にて
開催場所：各大会開催地
- B級検定講習会～（2回開催）
開催日程：2023年 月 日（土）～ 日（日）
開催場所：2大会・開催大会未定）ミックス 8月 青森 3月妹背牛 or5月北見
- C級検定講習会
オンライン開催×2回、（7月・11月）
希望する地域に応じた地域での開催（開催地の要望による日程）
- B級、C級審判員研修会（コンプライアンス研修を含む）
開催日程：2023年 9月・10月 土・日のうち計8回開催予定
開催場所：オンライン開催

④ 審判部事業

- 審判部会議
集合会議
開催日程：2023年 6月 日（日）
開催場所：北海道 OR 青森のどちらか
Web 会議（随時開催）
- A級審判員派遣研修
派遣大会：未定（WCF主催大会へ派遣）審判部において検討
開催日程：未定
派遣場所：未定
- WCF 国際審判員養成研修
WCF アカデミーの受講の促進
- 審判員養成講習会検定資料作成・編集
- 競技規則翻訳・編集
- B級審判員活動促進事業
各日本選手権大会への審判員の派遣

⑤ アイスメイク研究会事業

- アイスメイク研究会 Web 会議
開催日程：随 時
- アイスメイクライセンス取得講習会・検定
開催日程：2023年 9月 日（ ）
開催場所：WEB 講習会・検定
- アイスメイクライセンスステップアップ研修会
開催日程：2023年 10月 日（ ）～ 日（ ）
開催場所：北海道 稚内
- JCA ストーン・スクレーパーブレード維持管理
JCA スクレーパーブレード研磨料

令和5年度 強化委員会 事業計画

強化委員会 委員長 柳 等

1. 強化事業の目標, 課題

1) 目標

強化事業における最大の目標は、カーリング日本代表チームがオリンピック冬季競技大会、世界カーリング選手権大会において金メダルを獲得することである。

令和5年度の目標を、

- ① 2024年世界女子カーリング選手権大会メダル獲得
- ② 2024年世界男子カーリング選手権大会プレーオフ進出
- ③ 2024年世界ミックスダブルスカーリング選手権大会プレーオフ進出
- ④ 2024年世界ジュニアカーリング選手権大会男・女プレーオフ進出
- ⑤ ユースオリンピック冬季競技大会(2024/江原道)ミックス, ミックスダブルス プレーオフ進出, とする。

2) 課題

強化の基本方針は、各カテゴリーの強化チームを海外強化合宿に派遣し、国際競技力を向上させることである。この方針に沿って、強化事業計画を策定し、実施する。

女子 エリート強化チームを複数認定し、海外強化合宿を実施、海外ツアー大会に出場させる。より多くの国際試合経験を積ませることで、WCF世界チームランキング(WTR)のポイント獲得を目指す。WTR25位以内に日本のチームを3チームランクさせ、国内トップチームの層を厚くすることを狙いとする。

男子 女子と同様にエリート強化チームを複数認定し、海外強化合宿を行わせる。WTR 20位以内 1チーム、30位以内 1チーム、35位以内 1チームさせることを目指す。

ミックスダブルス(MD) エリート強化チームを複数認定する。これまで4人制のチームの強化活動を優先することを認めてきたため、強化チームの海外強化合宿実施は限定的であった。今後は、海外ツアー大会出場を促進し、WTR上位に日本のチームが複数ランクする状況を作る。次世代を担うチームを発掘し、強化委員会推薦チームとして、日本MDカーリング選手権大会に出場させる。

ジュニア 令和5年度のジュニア日本代表はジュニア強化チームAである。目標とする大会まで少なくとも6カ月の強化期間を設けることができる。選抜チームではないが、ナショナルヘッドコーチの指導のもと、海外強化合宿を含め計画的に強化を進める。

ユースオリンピック 令和5年5月に選考したユースオリンピック強化チームをナショナルヘッドコーチの指導の下でおよそ7カ月間競技力の向上を図る。オリンピックの意義や精神等について学ぶ研修も実施する。

2. 令和5年度強化事業

- 1) 強化チームの指定および認定
- 2) エリート強化チームA・B 国内強化合宿の実施
- 3) ジュニア強化チームA 国内強化合宿の実施
- 4) ミックスダブルス強化委員会推薦チーム選考合宿の実施
2023年内開催予定(詳細未定)
- 5) ネクストエリート強化夏季国内強化合宿の実施
期日 令和5年8月(詳細未定)

- 6) U-18 カーリングアカデミー
期日 令和5年7月28日～30日
場所 どうぎんカーリングスタジアム
参加者 選手32名, 指導者6名
 - 7) ミックスダブルス冬季国内合同強化合宿の実施
2023年内開催予定(詳細未定)
 - 8) 海外強化合宿(エリート強化チーム, 大学強化チーム, ネクストエリート強化チーム, ジュニア強化チーム, ユースオリンピック強化チーム)の実施
 - 9) ワールドユニバーシティゲームズ日本代表選考合宿の実施
期日 令和6年5月(詳細未定)
場所 未定
参加者 候補選手人数未定
 - 10) WCF 国際大会日本代表選考
 - 11) WCF 国際大会への日本代表チームの派遣, 強化スタッフ, サポートスタッフの派遣日本選手権大会, 国際大会等の視察
3. 令和5年度強化事業予算
- 1) 強化事業予算 1,467万円<日本代表派遣, 合同強化合宿の本会負担額, 外国人コーチ対策>
 - 2) 強化委員会予算 100万円<研修会講師派遣, 国内(大会)旅費, 等>
 - 3) ジュニア関係予算 710万円(YOG 関係, U-18 アカデミー, ジュニア支援)
 - 4) 強化事業(別紙, 令和5年度選手強化事業等実施計画書)

1 委員会の開催

- ・ZOOMによるオンライン会議の他、集合会議の実施

2 ドーピング検査事業

- ・ toto 費用申請
- ・ JADA、大会開催県協会と連携し、試合日程を確認、ドーピングコントロールステーションの設置、シャペロンの確保。検査、大会運営がどちらも問題なく進行するための調整
- ・ NF として検査立会い

3 アンチ・ドーピング啓発事業

- ① アンチ・ドーピング教育活動年間計画作成
- ② 承認 Educator の育成と設置
- ③ 研修会講師
 - ・ JCA 男女強化指定選手研修合宿（JADA-Educator の派遣依頼）
 - ・ ジュニア男女強化指定選手研修合宿（承認 Educator）
 - ・ カーリング指導者ステップアップ講習会（承認 Educator）
 - ・ カーリングコーチ3養成講習会（承認 Educator）
- ④ 各ブロック大会でアンチ・ドーピングの情報提供（研修会）、TUE 指導
- ⑤ クリーンスポーツアスリートサイトへのリンクバナー
- ⑥ 選手権大会のプログラムに啓発ページ（プログラム版）
- ⑦ 選手権大会でポスター掲示、スポーツの価値動画の放映
- ⑧ アンチ・ドーピング e ラーニングの使用
 - ・ WCF TTP は WADA ADEL（国際レベルアスリート）
 - ・ JADARTP/TP、JADA ナショナルプール、強化指定 ABC、ジュニア強化指定 AB、大学、日本カーリング選手権大会参加選手、日本 MD カーリング選手権大会参加選手は WADA ADEL（国内レベルアスリート）
 - ・ 日本ジュニアカーリング選手権大会参加選手、全日本大学対抗選手権大会参加選手、全国高校選手権大会参加選手、日本シニアカーリング選手権大会参加選手、日本ミックスカーリング選手権大会参加選手は FAIR PRIDE e ラーニング

4 医科学情報提供

各都道府県協会への連絡、ホームページへの掲載

5 医科学に関連する各講習会へ参加と情報提供

- ・ アンチ・ドーピング教育会議
- ・ アンチ・ドーピングフォーラム
- ・ 承認 Educator 育成研修会
- ・ 加盟団体スポーツドクター代表者会議
- ・ アスレティックトレーナー連絡会議

6 トレーニング情報の提供

- ・ 強化指定選手研修合宿、ジュニア男女強化指定選手研修合宿への参加など

7 新型コロナウイルス他、感染症対策

- ① ガイドライン改定

② 大会会場での感染症対策(健康調査、行動調査票の確認)

8 大会時の医療体制の準備

- ・会場近くの病院へ診療依頼の連絡

9 スポーツドクター、スポーツデンティスト、アスレチックトレーナー養成講習会新規受講者の推薦

- ・指導普及委員会と検討

10 トレーナーの大会帯同

- ・ジュニアや車椅子などトレーナー不在時の対応

1、委員会の開催

- ・web 会議は、毎月 1 回開催を基本とする。
- ・集合会議は、年 1 回の開催を基本とする。
- ・通報窓口に申立のあった場合や、コンプライアンス違反等の重大な案件が発生した場合は、必要に応じ随時 web 会議を開催し、事実調査等を行う。

2、ガバナンスコードに関する取り組みの実施

- ・地方組織等に対して、ガバナンスの確保やコンプライアンスの強化等を浸透させるための適切な指導や支援を行える体制作りを引き続き行い、全国事務局長会議でのコンプライアンス研修を実施する。

3、コンプライアンスに関する研修会の開催 (web 開催含む)

強化委員会、競技委員会と連携した取り組み

- ・強化合宿等(ジュニア強化選手も含む)で、選手及びコーチを対象としたコンプライアンス研修を開催し、「日本代表及び強化選手の行動規定」等への理解と認識の向上を図る。
- ・審判員を対象としたコンプライアンス研修の実施。

役員、事務局を対象とした取り組み

- ・理事等を対象としたコンプライアンス&ガバナンスに関するセミナーを開催し、協会のコンプライアンス強化と適正なガバナンスの確保を図る。

一般協会員に向けた取り組み

- ・JOC、JSPO 等 HP 内の研修動画閲覧を一般協会員に促すよう、全国事務局長会議内で案内する。

4、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成講習会における「コンプライアンス&ガバナンス」講習の実施 指導普及委員会と連携した取り組み

指導者としての、スポーツ・インテグリティ保護・強化への取り組みを推進する。

5、協会ホームページを活用した啓発活動

協会ホームページを活用し、「スポーツ・インテグリティ」を脅かす反社会的勢力との関わりの禁止、違法賭博等違法行為への関わりの禁止、人種差別の禁止、アンチハラスメント、暴力行為根絶等への取り組みを推進する。

6、上部団体等(JOC, JSC, 日本スポーツ協会等)の開催する研修会への参加及びアンケート調査への協力

上部団体、関連団体の研修等に理事等も含め積極的に参加し、コンプライアンス強化及び適正なガバナンス確保に努める。

7、その他

*委員会開催 (集合会議) 1回
(web会議) 2回

- *環境啓発横断幕掲示(日本ジュニア選手権・日本選手権・日本 MD 選手権・地方大会)
- *各協会カーリング施設への環境啓発ポスター掲示
- *環境啓発DVDの活用(日本ジュニア選手権等)
- *主催大会等主要大会における大会参加者・スタッフによる環境保全活動
(感染拡大予防も兼ね、参加選手・スタッフのゴミの分別、持ち帰りの徹底)
- *JOC スポーツ環境専門部会の会員としての活動
(JOC スポーツ環境専門部会会議・スポーツと環境地域セミナーの参加)
- *大会プログラムのデジタル化や行動記録のオンライン化で紙媒体を削減する
- *SDGsの具体的な取り組みを検討し、実行する
(用具の手入れや修理などの情報を発信する)

1. 委員会の開催

- web 会議を定期的に行い、事業進捗状況の確認、情報共有をする。
- 年に 1 回、集合会議を開催。

開催時期：6 月～7 月 会場：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 内会議室

2. 収益化の推進

- 日本選手権、日本 MD における有料観覧の運用管理。
- 主に上記大会における大会協賛社の獲得。
- Youtube 動画配信の収益事業化を検討。
- JCA 公式、公認グッズ制作協力。

3. 対外広報活動

- テレビ局と大会放送に関する各種調整。
- 日本選手権、日本 MD における Youtube の大会動画配信に関する各種調整。
- マスメディア、WEBメディアへの情報発信と管理。
- 協会公式ソーシャルメディアを通じた情報発信。
- 新しいソーシャルメディアの運用開発と情報発信。

4. 協賛社の契約書精査

- 事務局と連携し、契約にあたって契約書の精査、確認。

5. その他

- サポーター制度等、新しい収入構造の設計。
- 日本選手権横浜開催の実現に向けて横浜市や関係各所と調整。

【目的】

競技・選手に関する事項、競技の発展、振興、普及に関する事項、社会的貢献や選手の活動、生活に関する事項について競技力向上のための環境をより良くして行く為に意見や情報を審議、精査し、理事会に提案する事を目的とする。

1. 委員会の開催

- ・年4回以上の委員会を開催する。

2. 全国のアスリートからの意見集約会の開催、意見集約会で集められた意見の問題解決へのアプローチ

3. アスリート委員会ホームページ維持管理、寄せられた意見等への対応、ならびに周知活動

- ・ホームページの改善やSNSの活用検討、チラシ作成・大会配布などを通してアスリート委員会の活動内容の周知を行う。

4. 「日本ミックスカーリング選手権大会」「日本カーリング選手権大会」および

「日本ミックスダブルスカーリング選手権大会」における大会参加選手への保育支援事業

- ・事業内容：0～6歳までの就学前の子どもがいる大会参加選手を対象に、日本ミックス選手権・日本選手権・日本MD選手権での大会期間中の育児サポートを目的とし、申請書に基づき大会参加エントリー代を選手1名につき一律2万円の補助を行う。
加えて、利用希望選手へ現地保育所等一時預かり保育サービスの情報提供を無償で行う。

5. トップアスリートによるオンラインジュニアカーリング講座の開催

- ・事業内容：Zoomなどを利用したオンラインカーリング講座をジュニア選手対象に実施し、ジュニア選手の競技力向上を図る。

6. 物販（カーリングカレンダー(案)）事業（マーケティング委員会と協力して実施）

- ・事業内容：カーリングの認知拡大、ファン獲得に向けて物販を行う。
(販売予定時期：2023年10月～)

7. アスリートキャリアデザイン事業

- ・目的：アスリートの競技活動（選手生活やスポンサー関係）を始め、競技外でのキャリア構築や、選手活動引退前後に関わらず選手の環境を豊かにしていくため、幅広い知識や理解を深めていく。
- ・実施内容：①現状やニーズの把握
アスリートへのアンケートの実施や強化合宿におけるグループワークの実施
②Webセミナー開催（年2回程度、時間は1～1時間半程度）
内容（案）：アスリート/元アスリートによる講話
アスリートを支える企業の方とのディスカッション
③各種セミナー等開催情報の共有（適宜）

1. WCF 等団体との折衝
 - ・ 依頼要請等発生により随時
 2. JCA 各委員会との連携
 - ・ 各委員会委員異動に伴う国際委員会委員指名要請（必要に応じて）
 - ・ Annual General Congress (AGA: 年次総会) 等に向けた JCA 意思確認
 - ・ その他随時
 3. 委員会開催
 - ・ Web 会議（Zoom 等。随時。特に WCF 総会直前・OpenMeeting 直前）
 4. WCF 関連会議への評議員派遣
 - ・ WCF 総会(おそらく 2023/09 @韓国)
 - ・ Open Meeting (おそらく 2024/03-04 (世界選手権開催時))
 - ・ PA Zone Meeting (おそらく 2023/fall (PCCC 時))
 5. 国際関係力強化への検討
 - ・ 以下に関する検討
 - ・ 国際審判員等資格に関する調査
 - ・ WCF 関連イベントへの派遣
 - ・ JOC や他競技 NF との連携
 6. 国際的人材の確保
 - ・ 国際人アカデミーへの受講者推薦（可能であれば）
 - ・ 国際活動に興味のある人材の掘り起こし
 7. 予算
- 事業予算書参照